



医学・看護学教育通信

— 第 41 号 —

発行 2012.4.2

Medical and Nursing Education News

■ 医学、看護学生の学習環境

新入生および御父兄の皆様、入学おめでとうございます。これからの医学・看護学の勉強に期待を膨らませていただけることと存じます。通学方法や下宿先など検討中と思われませんが、ぜひ大学の近くに住まれることをご提案いたします。医学・看護学の勉強は、学年が2年、3年と上がるにつれ、解剖や生化学、生理学、微生物、病理学などの実習に重点が置かれていきます。講義と違い、各自が指定された項目が終了するまで帰れません。当然、帰宅が遅くなります。特に附属病院での臨床実習では、緊急時の対応等にも参加する場合もあり、実習が深夜に及ぶこともあるでしょう。遠隔地からの自動車での通学は、そのような場合、疲労からの交通事故を招く可能性もあります。また、図書館は24時間利用可能ですので、学習面でも有益です。

駐車場の問題もあります。附属病院を受診される患者さんの数が毎年増加しており、現在外来者用駐車場が不足している状態です。そのため、医学部職員で2キロ以内の居住者は、駐車場の使用が許可されていません。また学生は原則的に駐車場の使用許可を出しておりません。この点からも、自動車を必要としない大学近辺での居住を提案いたします。ご理解よろしくお願いたします。(市場正良)

■ 医師国家試験の結果

去る3月19日、第106回医師国家試験の合格発表がありました。全国で8521人が受験し、7688人が合格。合格率は90.2%でした。

本学の新卒者は93名中84名合格(90.3%)でしたが、既卒者を含めると、全体の合格率は88.5%で、本年も残念ながら全国平均を下回る結果となりました。今の国家試験は、より臨床的な、解釈・問題解決能力が要求されています。医学の基礎的な理解を固めた後、臨床実習の現場で、断片的だった知識を自分の中で体系づけていくことが、医師への道であり、イコール、国家試験の合格にもつながります。勉学に取り組む姿勢は一生のものです。「学問に王道なし」を再認識し、仲間と共に勉学に励んでほしいと思います。

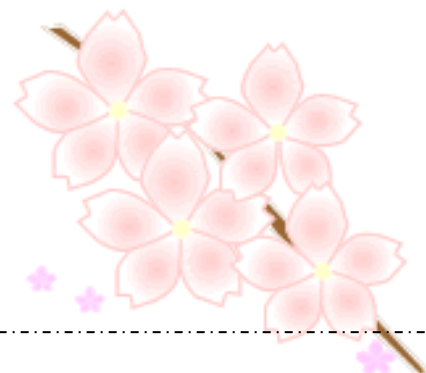
本院の初期臨床研修プログラムで研修を開始する人は、34名です。その内、1年目を大学で研修する人は28名です。社会人としての自覚を持ち、自己研鑽に励んでください。皆様の温かいご指導、ご鞭撻を今後共よろしくお願いたします。(卒後臨床研修センター、江村・吉田)

■ 保健師・助産師・看護師国家試験の合格発表について

平成23年2月に実施された看護師・保健師・助産師国家試験の合格者が発表されました。本学受験者の合格率は、看護師と助産師は100%で全員合格です。保健師は新卒3名が不合格でしたが、病院看護師として就職予定なので支障はありません。過去3年間の国家試験の全国平均は、看護師90%前後、保健師86%前後、助産師83~95%で推移しています。本学の看護師は、過去3年間100%合格です。助産師は、開設以来100%を維持しています。23日に卒業式を終え、国試の結果を確認した卒業生が、「やっと卒業した気がします」と嬉しそうに報告に来てくれました。皆さん、本当におめでとうございます。やっとスタートラインに立ちましたね。4月からは看護職の仲間として、皆さんの活躍を陰ながら応援しています。今年の国試では、東日本大震災の経験から、看護師・保健師ともに災害に対する援助についての状況設定問題が出題されたようです。また、保健師では統計的な問題の難易度が高く、看護師では基礎看護技術に関してイラストを用いた出題形式も増えてきたようです。在校生の皆さんは、低学年の頃からコツコツと学びを継続して頂きたいと思います。(古賀明美)

H23年度 看護師・保健師・助産師国家試験合格発表の結果
(平成24年3月26日発表)

| | 受験者数(人) | 合格者数(人) | 合格率 | |
|-----|---------|---------|-------|------------------|
| 看護師 | 新卒 | 60 | 100% | 全国平均 合格率90.1% |
| | 既卒 | — | — | |
| 保健師 | 新卒 | 70 | 95.7% | 全国平均 合格率86% |
| | 既卒 | 3 | 100% | |
| 助産師 | 新卒 | 4 | 100% | 全国平均 合格率95% |
| | 既卒 | — | — | |



教育広報部会

小田康友、市場正良、吉田和代、江村正、古賀明美、本間治
ご意見をお待ちしています(oday@cc.saga-u.ac.jp)

